

オペラ

木林は生きている

オペラシアターこんにゃく座

2025年12月21日(日)

開場時間14:30 開演時間15:00

会場 新宿文化センター大ホール(新宿6-14-1)



上演2時間10分
休憩15分含

一般
料金

指定席/大人3300円

18歳以下2200円

3歳未満無料(お膝席)

自由席/大人2200円

18歳以下1100円

3歳未満無料(お膝席)

*受付9月1日開始

*申込はHPから▶▶▶



会員無料

原作:サムイル・マルシャーク(訳:湯浅芳子)

台本・作曲:林 光 演出:眞鍋 卓嗣

ココロを動かせ!
あそびつくせ!
まだまだ先へ!

後援:新宿区
新宿区教育委員会

新宿子ども劇場

共催:公益財団法人新宿未来創造財団

主催
問合せ

(特非)あそびと文化のNPO新宿子ども劇場
〒162-0853新宿区北山伏町2-17 ゆったり~の共同事務所
TEL/FAX 03-5261-8696 MAIL shinjukukodomol23@gmail.com



★cnc★ 11:00~14:00
クリスマスタウン

もあるよ! *別途要申込



オペラ 森は生きている

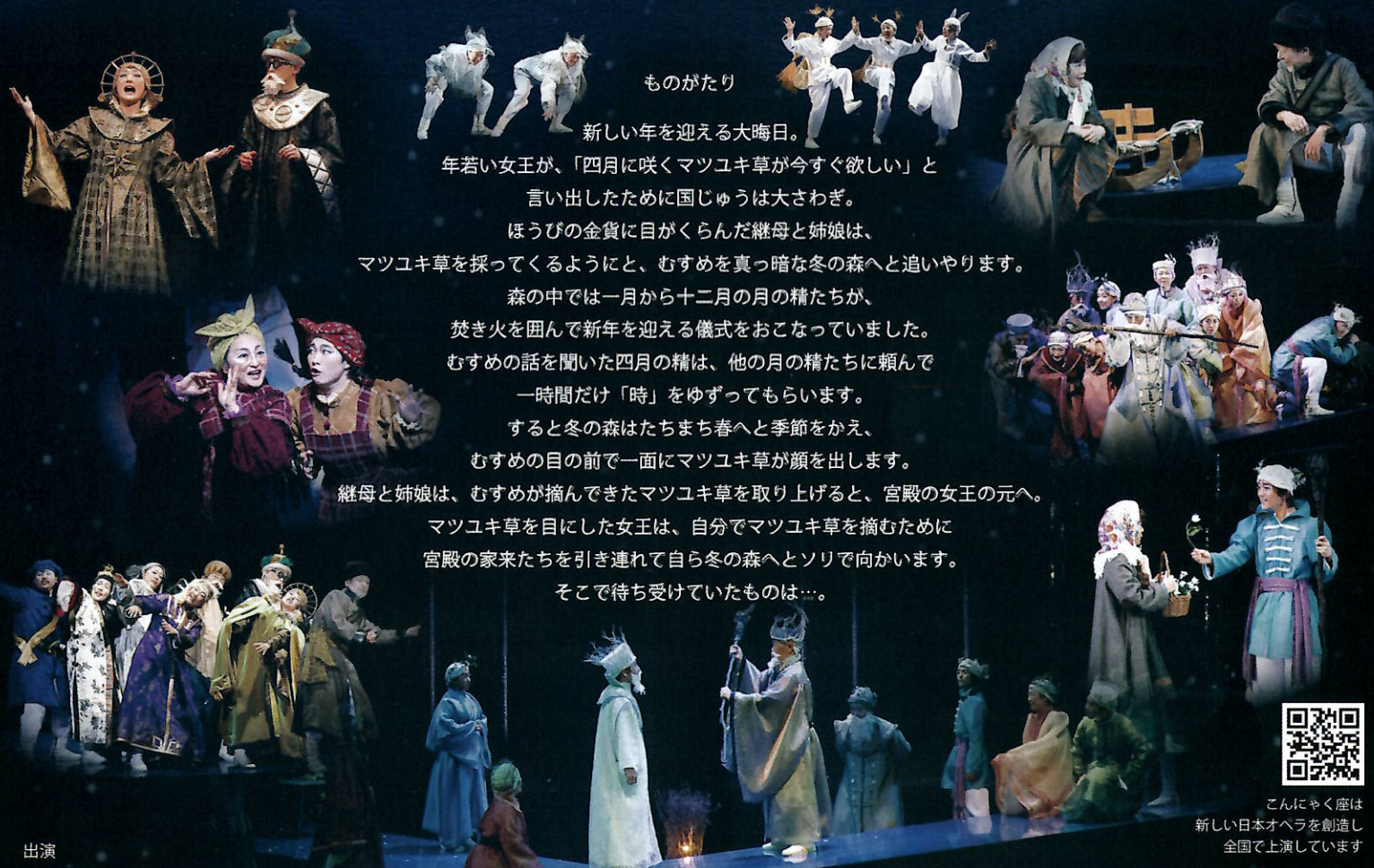
原作 サムイル・マルシャーク
(湯浅芳子訳による)

台本・作曲 林光

演出 眞鍋卓嗣

 美術 伊藤雅子
 衣裳 山下和美
 照明 金英秀
 振付 白神ももこ
 舞台監督 八木清市
 音楽監督 萩京子
 Illustration ミロコマチコ
 Title design 片山中蔵

1954年、戦後まもなく劇団俳優座によって「森は生きている」が日本初演されたとき、劇音楽を担当したのが当時22歳の林光でした。
 こんにゃく座がオペラ『森は生きている』を初演したのは1992年。以来、こんにゃく座の大切なレパートリー作品として毎年上演し続けています。



ものがたり

新しい年を迎える大晦日。

年若い女王が、「四月に咲くマツユキ草が今すぐ欲しい」と

言い出したために国じゅうは大さわぎ。

ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉娘は、

マツユキ草を探ってくるようにと、むすめを真っ暗な冬の森へと追いやります。

森の中では一月から十二月の月の精たちが、

焚き火を囲んで新年を迎える儀式をおこなっていました。

むすめの話聞いた四月の精は、他の月の精たちに頼んで

一時間だけ「時」をゆずってもらいます。

すると冬の森はたちまち春へと季節をかえ、

むすめの目の前で一面にマツユキ草が顔を出します。

継母と姉娘は、むすめが摘んできたマツユキ草を取り上げると、宮殿の女王の元へ。

マツユキ草を目にした女王は、自分でマツユキ草を摘むために

宮殿の家来たちを引き連れて自ら冬の森へとソリで向かいます。

そこで待ち受けていたものは…。

出演

1月 総理大臣
沢井栄次2月 警護隊長
吉田進也3月 オオカミ
彦坂仁美4月 カラス
泉篤史5月 ウサギ
白石温6月 もりのつみぎめ
青木美佐子7月 むすめ
鈴木裕加8月 女唄「オオカミ」
豊島理恵9月 おっかさん
齊藤路郎10月 女王
熊谷みさと11月 兵士
松田祐慈郎12月 博士
高野うるおピアノ
入川舜

こんにゃく座は
新しい日本オペラを創造し
全国で上演しています

新宿子ども劇場つな

新宿子ども劇場は「すべての子どもたちに文化を！」と
子どもも大人も一緒になって楽しめる活動を創っています。

-これからの活動.....
- 12月 7日(日)『ライフイズアサーカス!!!!!!』@戸山小学校体育館
 - 1月 18日(日)『食器は歌う』@落合第一小学校体育館
 - 2月 8日(日)『しんじゅく・キッズ♡ミュージアム』@四谷区民ホール
 - 3月 8日(日)『子ども商店街』@エコギャラリー新宿



本公演は「リラックスパフォーマンス公演」です。
 劇場での鑑賞に不安がある人でも安心して舞台芸術を楽しめる
 ように、通常の公演よりも鑑賞マナーを緩和した公演形態の
 ことです。障害の有無や年齢に関わらず、誰もが気軽に芸術文化
 に触れる機会を増やすことを目指しています。

ご来場の皆さまへのお願い

本公演は、通常の公演で期待される鑑賞マナーを緩和して実施するものです。
 上演中もお客様の移動やざわつき、多少の話し声が予想されることをご理解
 くださいますようお願いいたします。

<主催>

(特非)あそびと文化のNPO
新宿子ども劇場
<https://kodomogeikiyo.net/>



グッドガバナンス認証
 2023G(O)0084



MAP